

企画展

斜読
ななめ
よみ

徒然草

—近世読書のたのしみかた—

令和7年5月23日(金) - 7月13日(日)

開館時間 9時～16時30分(入館は16時まで)

休館日 毎週月曜日

主催 神奈川県立金沢文庫

協力 横浜市金沢区役所

観覧料 一般 250円(150円)、20歳未満・学生 150円(100円)、65歳以上・高校生 100円、
中学生以下、障がい者の方は無料 ※()内は20名以上の団体料金

交通 京急線 金沢文庫駅下車 東口より徒歩12分(快特で品川駅より33分、横浜駅より16分)
シーサイドライン 海の公園南口駅下車 徒歩10分(JR根岸線 新杉田駅接続)

神奈川県立金沢文庫

Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum

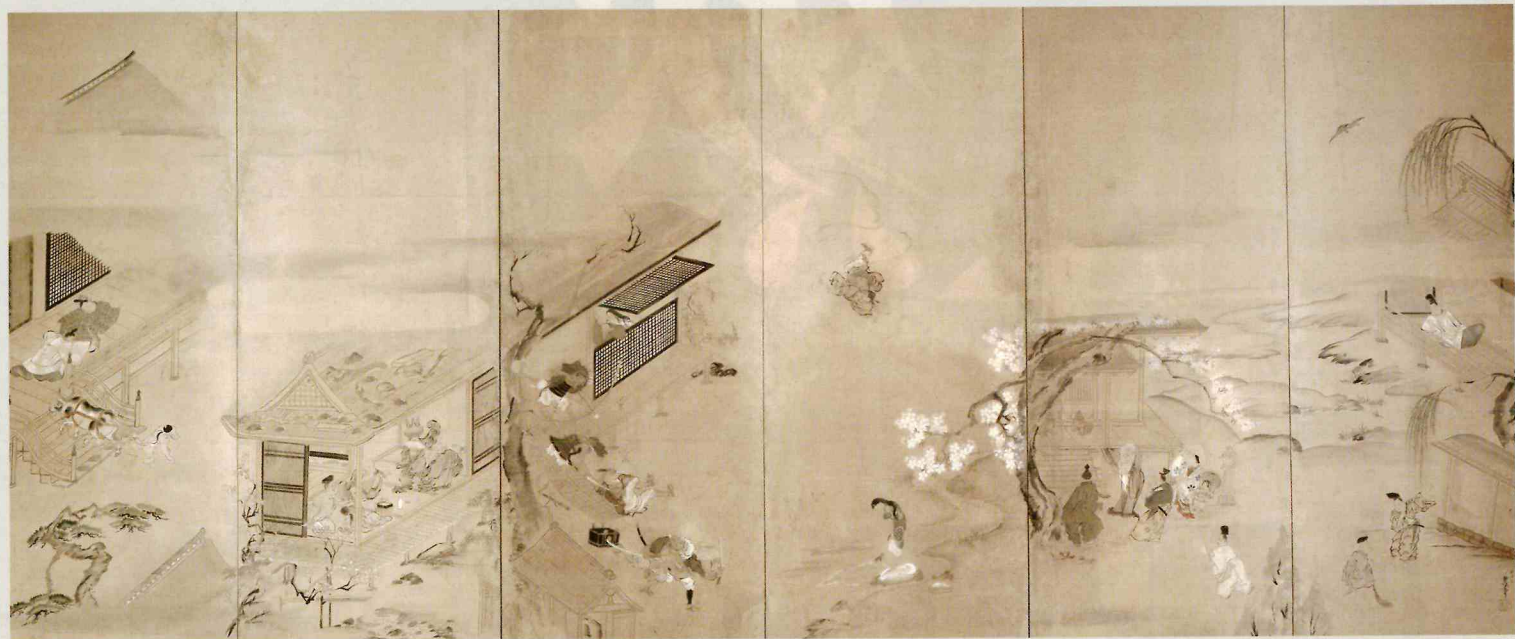
〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町142

TEL 045-701-9069 / FAX 045-788-1060

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/index.html>



奈良絵本徒然草(部分)江戸時代(当館所蔵)



鎌倉時代に兼好法師によって著された随筆『徒然草』が最も流行したのは、江戸時代でした。その主な理由は、印刷技術の発達といわれています。なぜ、江戸時代に『徒然草』が多く印刷されたかといえば、それは『徒然草』が面白かったからにはほかなりません。

では、江戸時代の人々は、『徒然草』のどこに面白さを見つけたのでしょうか。本展示では、絵本、絵巻、屏風、刊本をはじめとする金沢文庫所蔵の『徒然草コレクション』から、当時の人々が見出した『徒然草』の魅力を探ります。

講座のご案内

- ①江戸の粋談義『徒然酔か川』を楽しむ
日時：令和7年6月22日（日）
午後1時30分～3時
講師：道津綾乃（当文庫学芸課長）
- ②兼好法師がみつめた中世都市鎌倉
日時：令和7年7月13日（日）
午後1時30分～3時
講師：貫井裕恵（当文庫学芸員）
会場 神奈川県立金沢文庫 地下会議室
お申込み方法 金沢文庫 HP「申込フォーム」、または往復はがき（お1人様1通まで）に、講座名（開催日）、住所、氏名、電話番号を明記の上、①は6月5日（木）、②は6月26日（木）必着でお申し込みください。いずれも、定員は70名（超過の場合は抽選）。受講には当日の観覧券が必要です。

主要展示品

奈良絵本徒然草、徒然草絵巻（飯塚円貞広美模写）[写真上段]、徒然草屏風（鍛形憲斎筆）[写真中段]、絵本徒然草（西川祐信筆）、兼好法師像（伝狩野探幽筆）[写真下段右]、兼好法師画像（石島筑波賛）[写真下段左]、草筆画譜 第二編（歌川広重画）、花鳥山水 漫画早引（葛飾為斎筆） 全て当館所蔵

次回予告

特別展 国宝にみる 薬と食べ物
令和7年7月18日（金）～8月31日（日）

